

The image shows a large, blue, three-dimensional logo of the company 'Yamazawa' mounted on the side of a building. The logo is slanted upwards from left to right. The background of the entire slide is a bright blue sky with some white clouds.

株式会社 ヤマザワ

2022年2月期 決算説明会

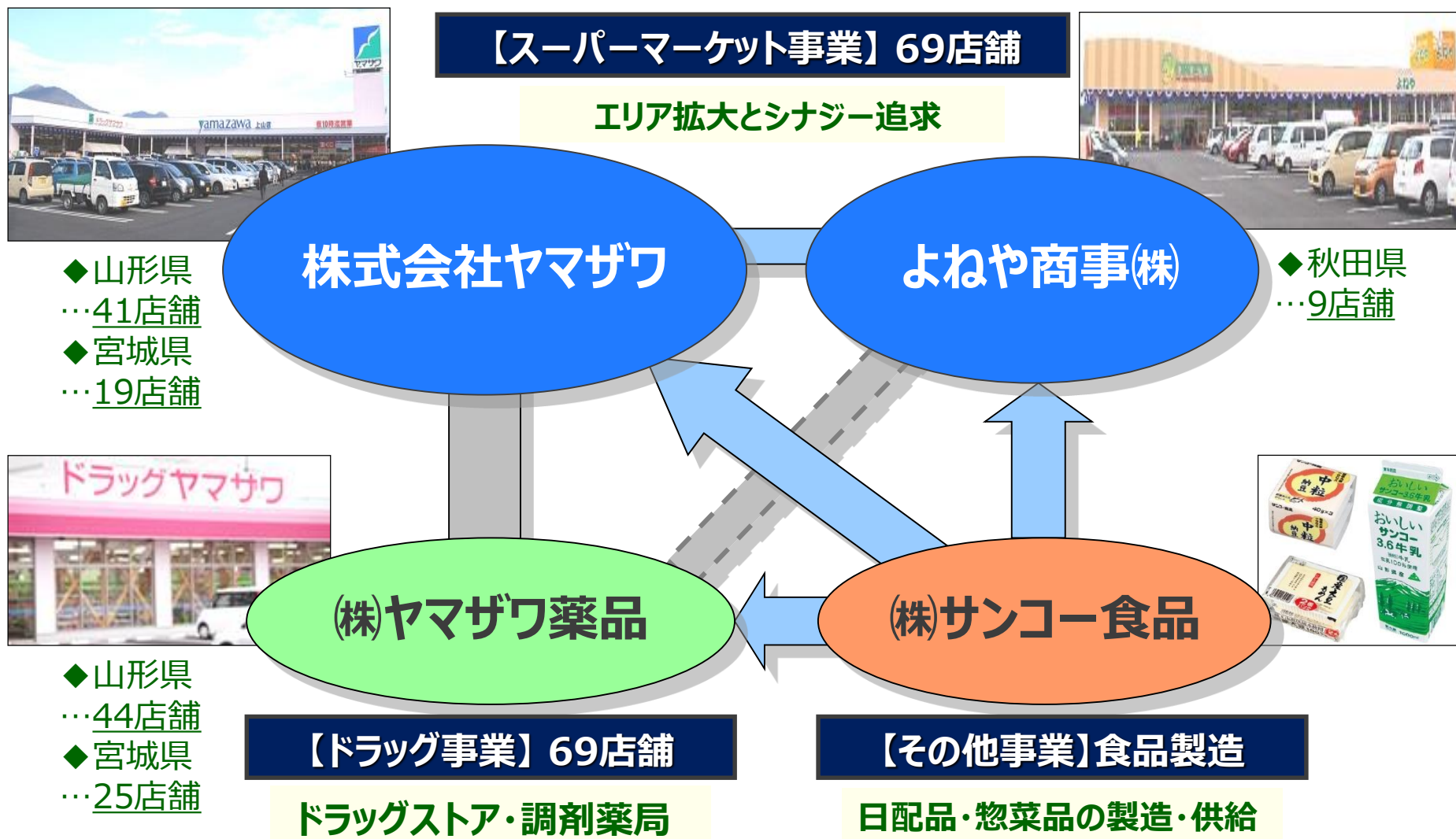
代表取締役社長
古山 利昭

証券コード：9993

本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、物価変動等、多分に不確実要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離することもありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

1. 株式会社ヤマザワ グループ概要	..	2～ 5
2. 2022年2月期 決算概況		
(1)連結業績概況	..	6～ 9
(2)単体業績概況	..	10～15
(3)出店・改装・閉店	..	16
3. 2023年2月期の見通し		
(1)通期業績見通し	..	17～18
(2)株主還元	..	19
4. 中期経営計画 概要	(2023年2月期～2025年2月期)	
(1)ビジョン	..	21～24
(2)第3次中経 重点課題	..	25～30
(3)目標	..	31

1. 株式会社ヤマザワ グループ概要



※非連結子会社

(株)ヤマザワ保険サービス

※店舗数・・2022年2月末時点での状況

スーパーマーケット事業：69店舗



【期末店舗数】

(株)ヤマザワ

60店舗

(休店：中山店)

よねや商事(株)

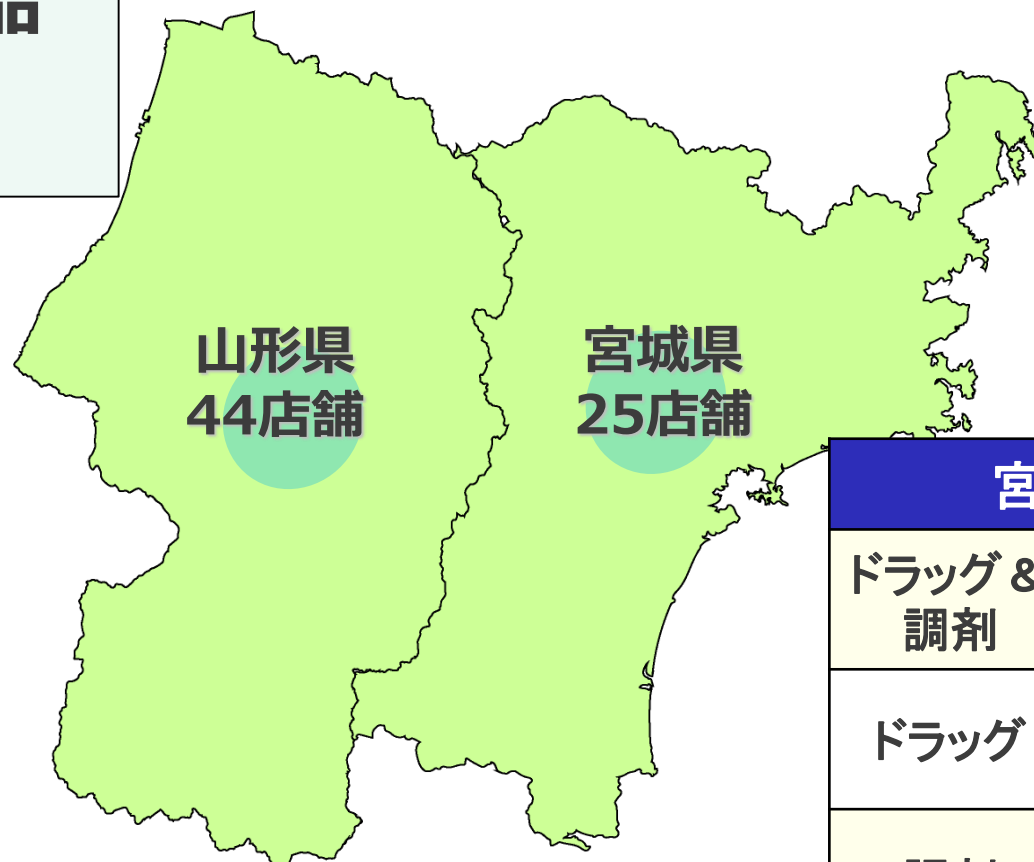
9店舗

(休店：南店)

ドラッグストア・調剤薬局

(株)ヤマザワ薬品

69店舗



山形県

ドラッグ & 調剤	3店舗
ドラッグ	32店舗
調剤	9店舗

宮城県

ドラッグ & 調剤	3店舗
ドラッグ	11店舗
調剤	11店舗

2. 2022年2月期 決算概況

業績結果（連結）

連結業績概況 2022年2月期

【連結経営成績】

(単位：百万円，%)

	実績	売上比	前期比	前期差
営業収益	110,673	—	98.0	△2,265
経常利益	1,161	1.0	48.2	△1,248
当期純利益	368	0.3	41.9	△510

【連結財政状態】

(単位：百万円，%)

	実績	構成比	前期比	前期差
総資産	49,373	—	97.0	△1,529
純資産	28,812	58.3	100.3	80

【連結キャッシュフローの状況】

(単位：百万円，%)

	実績	前期比	前期差
営業活動によるCF	2,253	39.6	△3,435
投資活動によるCF	△3,113	86.5	486
財務活動によるCF	△699	—	851

1. 連結 減収減益

2. 財政状況

- (1)ROE（自己資本当期利益率）
1.3%(△1.8%)
- (2)ROA（総資産経常利益率）
2.3%(△2.5%)
- (3)自己資本比率
58.3%(+1.9%)

3. キャッシュフロー関連

- (1)現金及び現金同等物
期末残高
5,721百万(△1,559)
- (2)設備投資額
3,546百万(△1,333)
- (3)減価償却費
2,782百万(+279)

連結業績概況 2022年2月期

【各社経営成績】

(単位：百万円，%)

連 結	実 績	売上比	前期比	前期差
営 業 収 益	110,673	—	98.0	△2,265
ヤマザワ	88,360	—	98.3	△1,520
よねや商事	10,076	—	97.6	△253
ヤマザワ薬品	13,166	—	96.2	△521
経 常 利 益	1,161	1.1	48.2	△1,248
ヤマザワ	1,144	1.4	54.4	△960
よねや商事	△145	—	151.0	△49
ヤマザワ薬品	26	0.2	13.6	△165
当期純利益	368	0.3	41.9	△510
ヤマザワ	583	0.7	49.0	△606
よねや商事	△230	—	—	+134
ヤマザワ薬品	△6	—	—	157

1. よねや商事

(1)減収

(2)改装・休店

①改装 ハッピーモール店 (11月)

②期末店舗数 9店舗

(南店建替えの為)

(3)減損損失164百万円

2. ヤマザワ薬品

(1)減収減益

(2)売上状況

①OTC売上 93.0%

②調剤売上 101.5%

(3)新店・改装・閉店

①新店 2

調剤多賀城店・調剤杜のまち店

②改装 7

仙台医療センター前店他

③閉店 1 ドラッグ尾花沢店

④休店 1 ドラッグ中山店

業績結果（単体）

単体業績概況 2022年2月期

【単体経営成績】

(単位：百万円，%)

科 目	上 期	下 期	通期累計
売 上 高 前期比 前期差	41,954 95.8 △1,851	42,307 100.8 324	84,261 98.3 △1,528
経 常 利 益 前期比 前期差	537 40.6 △787	607 77.6 △171	1,144 54.4 △960
当期純利益 前期比 前期差	340 48.7 △357	243 51.4 △229	583 49.0 △606

1.減収減益

2.期末店舗数 60店舗 (±0)

(1)新店(建替) 1 / 休店 1

3.設備投資状況

(1)新店(建替) 1 (宮城 1)

(2)改装 4 (山形3/宮城1)

4.損益状況

(1)営業総利益 : 25,447百万円
(△519百万円)

(2)販売管理費 : 24,313百万円
(+558百万円)

・設備費 : 9,411百万円
(+456百万円)

・人件費 : 10,820百万円
(+118百万円)

・減価償却費 : 2,416百万

※設備投資額 : 3,095百万 (△924)

(3)特別損益 : △184百万

既存店 売上構成指標 前年比

【通期累計実績】

売 上 高	
2022.2期	98.3%
(	105.2%)
2021.2期	106.6%
2020.2期	99.9%

客 数
98.0%
(98.0%)
99.4%
100.0%

買上点数
99.1%
(104.5%)
104.1%
100.0%

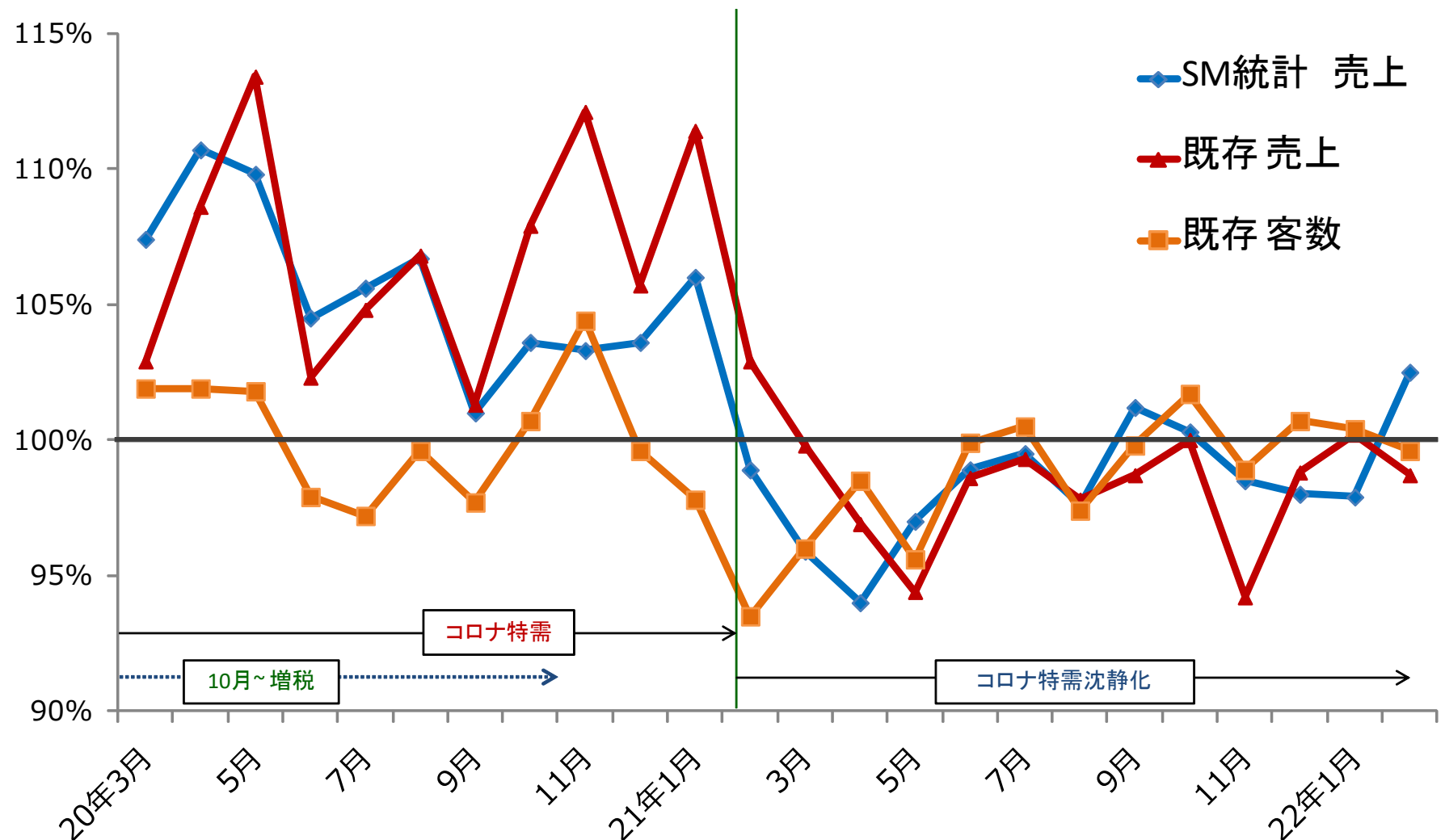
※当社管理会計データより

※()内は2020.2期比

客 単 価
100.4%
(108.0%)
107.9%
100.1%

一 品 単 価
101.2%
(103.3%)
102.4%
100.1%

既存店売上高・客数月次推移



単体商品別 主要指標

【生鮮・グロサリー主要指標 実績】 (単位：百万円，%)

	上期	下期	通期累計
生鮮食品売上	19,123	19,343	38,466
売上前期比	97.3	101.4	99.3
売上前期差	△526	+271	△255
荒利率前期差	△0.5	+0.4	△0.1
グロサリー売上	20,621	20,236	40,857
売上前期比	94.2	100.8	97.4
売上前期差	△1,262	+165	△1,097
荒利率前期差	△0.7	+0.3	△0.2
全部門売上	41,954	42,307	84,261
売上前期比	95.8	108.8	98.3
売上前期差	△1,851	+323	△1,528
荒利率前期差	△0.6	+0.3	△0.2

※1) 生鮮部門とグロサリーの売上の合計は、全部門売上と合致しない。

※2) 生鮮食品の計数は、青果＋鮮魚＋精肉＋惣菜 で算出。

1.概況

(1)通期

ドラッグストア参入による競争激化

(2)上期

天候不順による農産物への影響

帰省がない事でのお盆用の販売不振

(3)下期

年末帰省需要の戻り

内食需要の継続

2.青果、精肉、鮮魚

(1)上期 サクランボ霜害 (6月)

相場高⇒利益確保厳しい

(2)下期 ギフト強化での売上持ち直し

3.惣菜

(1)通期通して好調

(2)積極的な新商品導入・販売強化奏功

4.グロサリー

(1)特需反動 (日用品・加工食品)

売上減少顕著

(2)荒利益高確保に注力

単体業績概況 2022年2月期

【販売管理費 実績】

(単位：百万円，%)

		上 期	下 期	通 期
販 売 費	前期比 前期差	96.6 △46	99.9 △2	98.2 △48
人 件 費	前期比 前期差	100.2 +10	102.0 +107	101.1 +118
設 備 費	前期比 前期差	101.0 +44	109.2 +411	105.1 +456
管 理 費	前期比 前期差	107.7 +53	97.2 △21	102.3 +33
販管費 計	前期比 前期差	100.5 +61	104.2 +496	102.4 +558

1.設備費、管理費

前期差+489百万円

- ・修繕費等 : +143百万円
- ・減価償却費 : +305百万円
- ・光熱費 : +135百万円

新店・改装・閉店一覧

【スーパー】 60店舗 (△1) 新店(建替)1/改装4/休店1

区 分	上 期	下 期
新 店	1 店 舗	0 店 舗
	宮 城 1	
改 装	2 店 舗	2 店 舗
	山 形 2	山 形 1 宮 城 1
休 店	0 店 舗	1 店 舗
		山 形 1

(1)新店 ・中野栄店 5月
(宮城県仙台市)
※昨年閉店し建替えによる新店

(2)改装 ①寒河江西店 5月
(山形県寒河江市)
②相生町店 7月
(山形県米沢市)
③花沢町店 9月
(" 米沢市)
④富谷成田店 11月
(宮城県富谷市)

(3)休店 ①中山店 2月
(山形県中山町)

3. 2023年2月期 見通し

【連結業績見通し】

(単位：百万円，％)

科 目	上 期	下 期	通 期
営 業 収 益	53,000	47,000	100,000
前期比	—	—	—
前期差	—	—	—
営 業 利 益	500	450	950
前期比	86.4	86.9	86.4
前期差	△79	△71	△150
経 常 利 益	600	400	1,000
前期比	99.7	71.6	86.1
前期差	△2	△159	△161
当期純利益	300	300	600
前期比	81.7	—	163.0
前期差	△67	+299	+232

1.営業利益の増減要因

(単位：百万円)

① 2022年2月期通期 1,100

② 売上総利益増加 150

③ 販売管理費増加 300

④ 2023年2月期通期
(①+②-③) 950

※収益認識会計基準適用後の数値で記載。

尚、同基準の適用につき営業収益に影響が出る為、対前期増減率等は記載しておりません。

◆ 2023年2月期も、建替え新店および改装による既存店活性化を計画

【設備投資概要】

(単位：百万円)

	2022年2月期 実績 〔SM69店、ドラッグ69店〕		2023年2月期（予定） 〔SM71店舗、ドラッグ69店〕	
新 店	558	SM1店舗（上期） 中野栄店（宮城）	2,100	SM2店舗（下期） 中山店（山形） 南店（秋田）
改 装	1,013	ヤマザワ4店舗	900	ヤマザワ4店舗
他	1,975	空調更新 修繕投資等	1,800	空調更新 修繕投資等
合 計	3,546		4,800	

◆ 2022年2月期 年間27円見込み

引き続き、安定配当の方針。前期同様の配当見込み

1株当り 配当金推移	2019年 2月期 実績	2020年 2月期 実績	2021年 2月期 実績	2022年 2月期 見込み	2023年 2月期 予想
中間配当金	16.5	13.5	13.5	13.5	13.5
期末配当金	13.5	13.5	13.5	13.5	13.5
年間配当金	30.0	27.0	27.0	27.0	27.0
配当性向	—	—	33.5	80.0	49.1

4. 第3次中期経営計画 概要

(2023年2月期～2025年2月期)

チャレンジ “100”

～100年企業に向けてスタートアップ～

当社をとりまく環境と課題

＜脅威・環境変化＞

人口減少・高齢化・ マーケット縮小

- 買物難民増加
- 担い手不足、ITによる代替
- ネットスーパー、宅配等の需要増

業種・業態を超えた 競争激化

- ドラッグストア…食品強化
- ディスカウンター…低価格ニーズにマッチ
- EC拡大…店に行かなくても購入可能

新型コロナの影響 今後の動向

- 買物行動の変容…時短、ワンストップ
- 消費行動…節約志向、低価格ニーズ
- スマホ活用…決済、SNS、アプリ

コスト高騰

- 仕入れ価格高騰
- 光熱費、物流費上昇
- 人件費、採用コスト増

社会的要請 技術の進化

- デジタル化推進が急務
- SDGsへの対応
- 当社、スタンダード市場へ移行

＜新たな取組課題＞

ライフスタイルの
変化への対応

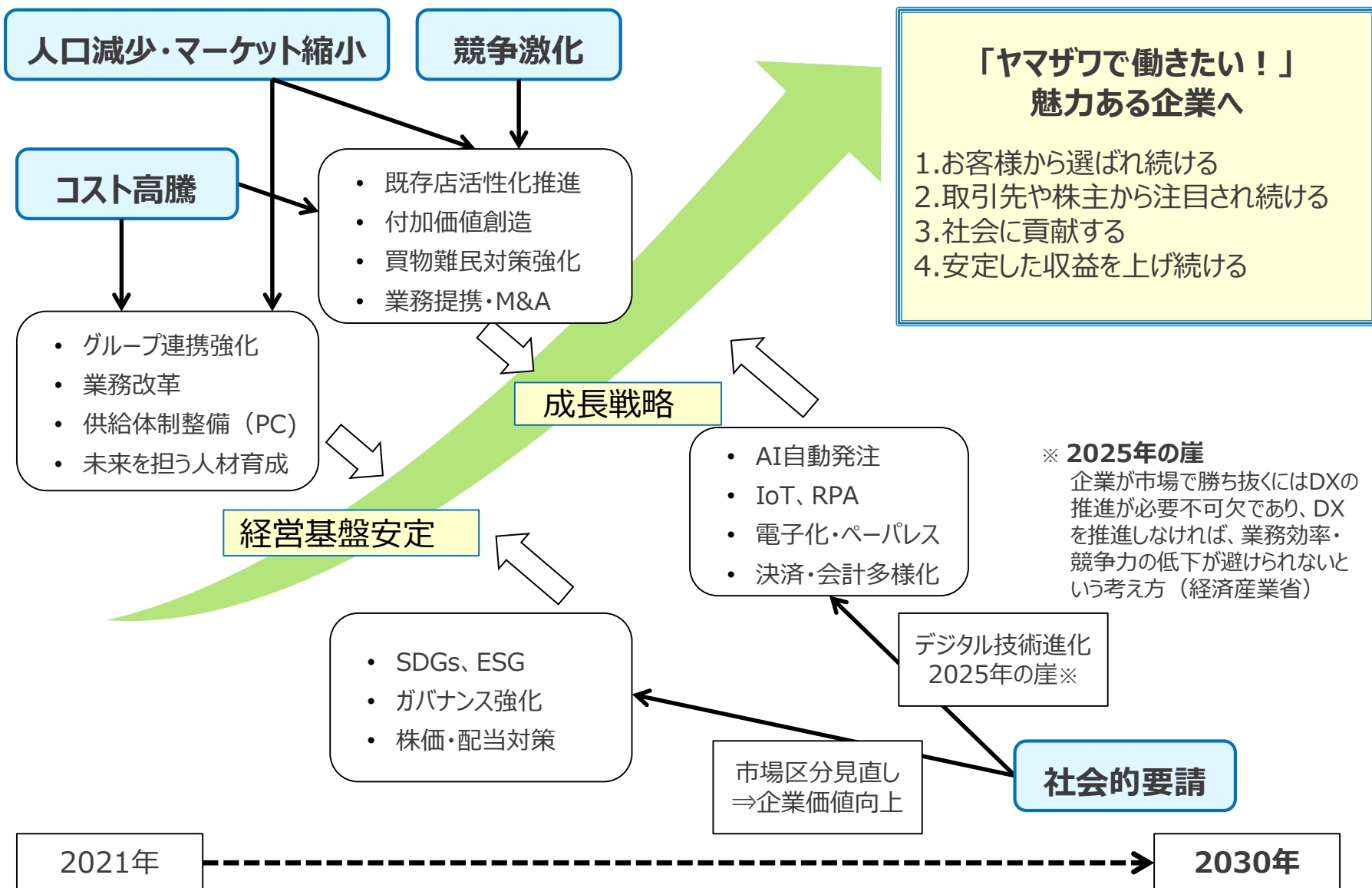
付加価値創造、価格戦略
(優位性確保)

全員の能力を最大化
できる環境整備

デジタルを活用した
販売促進、生産性向上

企業価値向上
サステナブル経営

ヤマザワグループが目指す姿



【3年後の目標】

1. 営業収益：1,050億円
2. 経常利益目標：16億円
3. 経常利益率：1.5%

【グループ経営理念】

ヤマザワグループは、お客様に安心と豊かさを提供し、地域の健康元気を応援するとともに、従業員一人一人が輝く企業を目指します

【グループビジョン】

地域に愛される、健康元気な100年企業を目指す

【重点課題】

1. 顧客の創造
2. 新たな生産性の獲得
3. サステナビリティ

4. 人材の育成

自ら考え・行動する

5. 組織風土改革

6. 組織基盤整備

1. 顧客の創造

(1) 商品開発

ヤマザワブランド

地産地消

- ①地元商品・ヤマザワブランドの開発
- ②地産地消 契約産地・栽培の再構築
- ③ローカルブランド開拓 地元由来
- ④売れ筋変化対応 便利＝環境保全



(2) 価値訴求

提案力・販売力

- ①提案力のある、買いやすい売場づくり
- ②決済の多様化・ネット販売



1. 顧客の創造

(3) 設備投資 (SM事業・サンコー食品)

出店・活性化
注力

総菜工場の増強

- ① 新店 : 6店 (内S&B 4店) 約55億円
- ② 活性化 : 12店 約25億円
- ③ サンコーデリカセンター 約30億円



2. 新たな生産性の獲得

(1) 業務の効率化

不採算業務再構築

- ① ペーパーレス化
- ② アウトパックの推進

(2) DX推進

自動発注推進

- ① 付加価値業務への人的資源集中
- ② ITインフラの整備

(3) 商品供給体制

惣菜工場活用

新物流体制
構築

(1) 地域貢献

地産地消

自治体連携

- ① 食育事業 【収穫体験】
- ② 教育振興基金 地域災害協定



(2) 環境対策

CO²削減

食品ロス削減

- ① CO²排出量削減
- ② 省エネ

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
具体的な対策を



3. サステナビリティ

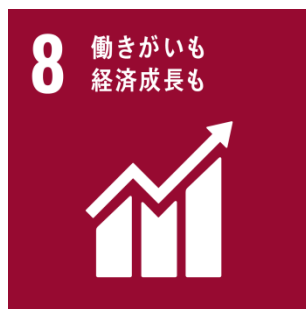
(3) 働きやすい職場環境

女性活躍
推進委員会発足

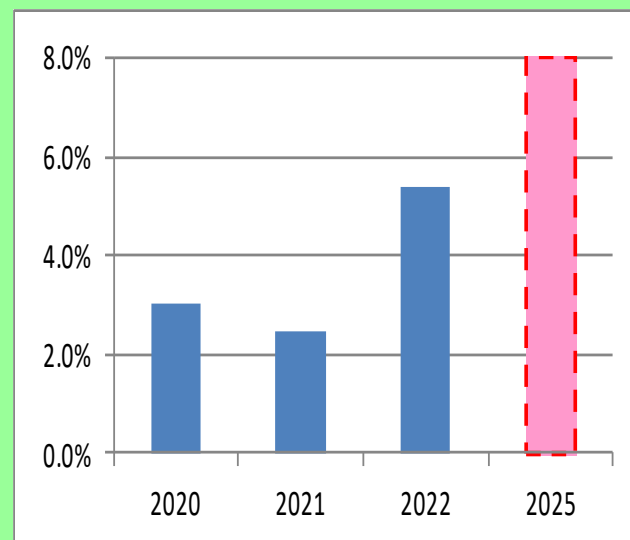
育児介護支援
推進

健康経営
推進

- ① 女性管理職登用の推進
- ② 仕事と家庭の両立支援
- ③ 健康経営優良法人の認定取得



女性管理職比率
6%以上目標



(1) グループシナジーの追求

業務・仕入
効率化

商品供給体制
効率化

①スーパーマーケット事業 ((株)ヤマザワ (株)よねや)

○**2023年3月合併**

②サンコー食品：

- 惣菜商品力・供給力強化
- SM事業のローコスト化に貢献

③ヤマザワ薬品：

- 調剤のドラッグインストア化促進
- 収益の上がる店舗のフォーマット作成



最終年度目標

営業収益	1,050億円
経常利益	16億
経常利益率	1.5%

※収益認識会計基準適用後の数値で記載

当社は

「スタンダード市場」

を選択しました。

①地元のお客様にご満足頂けるサービスの提供

②安定した収益確保と安定配当

③収益性を高め、取引先様より安心してお取引頂く事

を目指します。

地域に愛される
健康元気な100年企業へ



ありがとうございました

お問い合わせ

株式会社 ヤマザワ

経営企画室

kanri@yamazawa.co.jp

参 考 資 料

2022年2月期 損益管理表

単位：百万円、%

連 結	2021年2月期決算期		2022年2月期決算期		
	実 績	売 比	実 績	売 比	前 比
営 業 収 益	112,938	-	110,673	-	98.0
売 上 原 価	80,458	71.2	78,993	71.4	98.2
売 上 総 利 益	32,480	28.8	31,679	28.0	97.5
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	30,020	26.6	30,579	27.1	101.9
営 業 利 益	2,459	2.2	1,100	1.0	44.7
営 業 外 収 益	162	0.1	152	0.1	93.8
営 業 外 費 用	212	0.2	91	0.1	42.9
経 常 利 益	2,409	2.1	1,161	1.0	48.2
当 期 純 利 益	878	0.8	368	0.3	41.9

2022年2月期 損益管理表

単位：百万円、%

単 体	2021年2月期決算期		2022年2月期決算期		
	実 績	売 比	実 績	売 比	前 比
売 上 高	85,789	-	84,261	-	98.3
売 上 原 価	63,912	74.5	62,912	74.7	98.4
売 上 総 利 益	21,876	25.5	21,348	25.3	97.5
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	23,754	27.7	24,313	28.9	102.3
営 業 利 益	2,212	2.6	1,134	1.3	51.2
営 業 外 収 益	89	0.1	94	0.1	106.4
営 業 外 費 用	197	0.2	85	0.1	43.1
経 常 利 益	2,104	2.5	1,144	1.4	54.4
当 期 純 利 益	1,189	1.4	583	0.7	49.0

2022年2月期 貸借対照表

単位：百万円、%

自己資本比率：58.3%（前年差 +1.9%）

連 結		2021年2月期決算期		2022年2月期決算期	
		実 績	構成比	実 績	構成比
流 動 資 産		14,008	27.5	12,393	25.1
	現 金 預 金	7,716	15.2	6,147	12.5
	商 品 製 品	3,925	7.7	3,894	7.8
固 定 資 産		36,894	72.5	36,980	74.9
	有形固定資産	31,954	62.8	31,728	64.3
資 産 合 計		50,902	100.0	49,373	100.0
流 動 負 債		18,265	35.9	16,327	33.1
	支 払 債 務	7,674	15.1	6,914	14.0
固 定 負 債		3,905	7.7	4,233	8.6
純 資 産		28,732	56.4	28,812	58.4
有 利 子 負 債		4,260	8.4	4,195	8.5

2022年2月期 貸借対照表

単位：百万円、%

自己資本比率：61.4%（前年差 △1.3%）

単 体		2021年2月期決算期		2022年2月期決算期	
		実 績	構成比	実 績	構成比
流 動 資 産		8,433	19.7	8,749	19.7
	現 金 預 金	5,195	12.1	4,288	9.7
	商 品 製 品	1,919	4.5	1,948	4.4
固 定 資 産		34,473	80.3	35,574	80.3
	有形固定資産	28,449	66.3	28,444	64.2
資 産 合 計		42,906	100.0	44,324	100.0
流 動 負 債		13,865	32.3	14,528	32.8
	支 払 債 務	5,700	13.3	4,999	11.3
固 定 負 債		2,113	4.9	2,577	5.8
純 資 産		26,928	62.8	27,218	61.4
有 利 子 負 債		1,930	4.5	4,521	10.2

新店 1（宮城 1） / 休店 1（山形 1）

		2020年2月期決算期			2021年2月期決算期			2022年2月期決算期		
		出店	退店	店数	出店	退店	店数	出店	退店	店数
山形県	店舗数	0	1	42	2	2	42	0	1	41
	売上高	56,948	前比 99.3		59,509	前比 104.5		59,358	前比 99.7	
宮城県	店舗数	1	1	22	0	4	18	1	0	19
	売上高	25,953	前比 97.4		26,281	前比 101.3		24,902	前比 94.8	
合 計	店舗数	1	2	64	2	6	60	1	1	60
	売上高	82,901	前比 98.7		85,791	前比 103.5		84,261	前比 98.3	

単位：百万円、%

No	社 名	VC	店舗数	食品販売高	シェア	増減
1	ヤマザワ	ニチリウ	42	53,373	24.9	+0.1
2	イオン東北	イオン	31	43,035	20.0	+8.4
3	ヨークベニマル	7&i	22	39,928	18.6	+0.3
4	おーばーん	CGC	13	17,463	8.1	+0.4
5	生協（共立社）		10	15,529	7.2	+0.1
6	主婦の店鶴岡	CGC	8	7,245	3.4	△0.3
7	トー屋	CGC	8	5,890	2.7	△0.1
8	うめや	CGC	6	5,246	2.4	△0.1
9	本間物産(株)		7	4,755	2.2	△0.2
10	たかき		4	4,191	2.0	+0.1
	その他		32	18,018	8.5	△2.1
	計		183	214,674	100.0	

人口（人）	1,070,017	△1.1%	食品市場規模	3,606億	2.6%
世帯数	418,707	0.4%	内スーパー-食品販売高	2,147億	5.4%

単位：百万円、%

No	社 名	VC	店舗数	食品販売高	シェア	増減
1	ヨークベニマル	7&i	60	95,746	21.2	0.0
2	みやぎ生協		50	86,498	19.2	+1.0
3	イオン東北	イオン	26	34,390	7.6	+0.9
4	(株)ウジエスーパー	CGC	30	33,600	7.4	△0.4
5	マックスバリュ南東北	イオン	19	31,229	6.9	+0.3
6	ヤマザワ	ニチリウ	18	23,576	5.2	△0.2
7	(株)西友	CGC	18	20,930	4.6	△0.9
8	イオンSC	イオン	6	16,380	3.6	△0.2
9	イトーチェーン	CGC	10	13,770	3.1	+0.4
10	フレスコ	CGC	11	13,599	3.0	+0.3
	その他		88	81,577	18.2	△1.2
	計		336	451,296	100.0	
人口（人）	2,282,106	△0.9%	食品市場規模	8,606億	0.9%	
世帯数	1,016,612	1.0%	内スーパー食品販売高	4,513億	6.0%	

秋田県 シェア

単位：百万円、%

No	社 名	VC	店舗数	食品販売高	シェア	増減
1	イ オ ン 東 北	イオン	45	53,898	22.9	+6.3
2	伊 徳	CGC	22	43,001	18.3	+0.2
3	タ カ ヤ ナ ギ	CGC	15	22,360	9.5	△0.1
4	イ オ ン S C	イオン	6	17,820	7.6	△0.2
5	ナ イ ス		10	16,613	7.1	+0.2
6	中 央 市 場	AJS	8	10,403	4.4	△0.5
7	よ ね や 商 事		10	9,607	4.1	△0.1
8	コ ー プ あ き た		2	9,280	3.9	+0.1
9	バ ザ ー ル		5	7,315	3.1	△0.1
10	(株) ア マ ノ		3	7,018	3.0	△0.1
	そ の 他		37	37,916	16.1	△2.8
	計		163	235,232	100.0	

人口（人）	971,604	△1.4%	食 品 市 場 規 模	3,480億	7.8%
世 帯 数	425,698	0.0%	内スーパー-食品販売高	2,352億	4.7%

東北 主要 S M 店舗数

ヤマザワ 60



山形 41

宮城 19

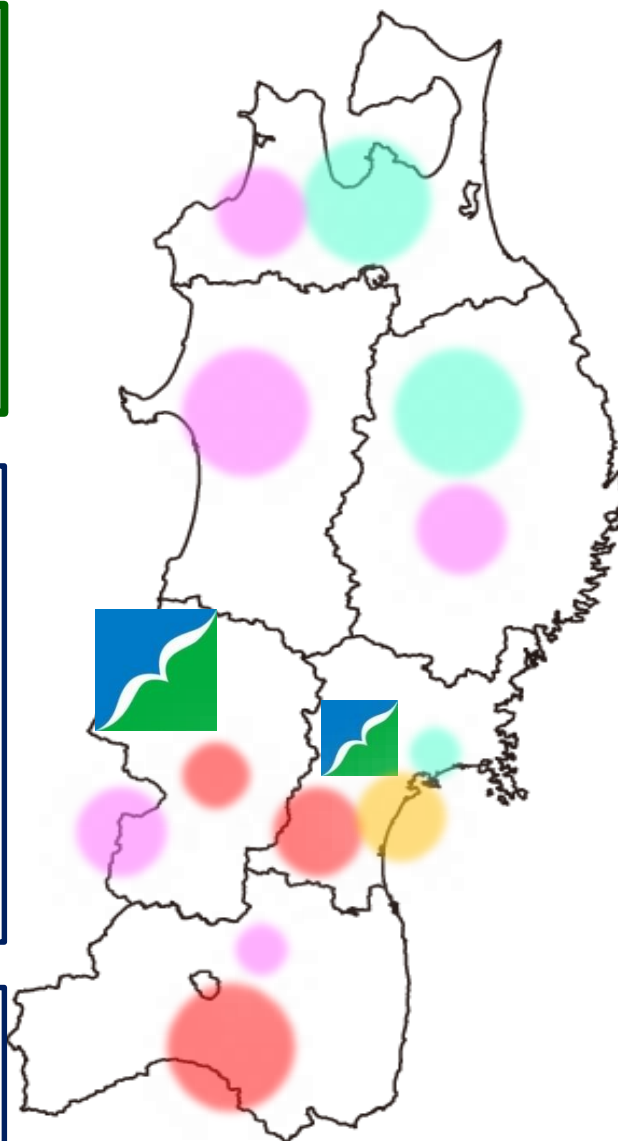
ヨークベニマル 235

山形 22

宮城 60

福島 79

みやぎ生協 51



アークスグループ°

ユニバース 57

青森 37 岩手 19

秋田 1

ベルジョイス 58

岩手 51 青森 1

宮城 7

イトーチェーン 10

イオン系

イオン東北 157

青森 30 岩手 15

秋田 46 宮城 27

山形 31 福島 8